

「技術科教育法 I」の授業評価

技術教育・森慎之助

1. 授業の概観

本授業は、技術教育専修の必修科目である。2回生前学期に開講している。授業の目的は中学校技術科の教員免許を取得するために、中学校技術科教育の目標と内容を踏まえて、学習指導計画や教材研究のあり方について理解することである。

到達目標は(1)中学校技術科教育の歴史と位置づけを理解し、現在および将来において技術科が生活に密着している教科であることが理解できる、(2)技術教育の現状をふまえ、技術の面白さ・楽しさを指導できる教材・題材の開発へ考えを発展させることができる、(3)総合的な学習の時間と技術教科の関わり方を考えることができる。授業内容は以下のとおりである。

- 第1回 技術科教育の役割と目標
- 第2回 技術と教育、技術科教育の歴史
- 第3回 技術と教育、技術科教育の歴史
- 第4回 学習指導計画
- 第5回 学習指導方法 1
- 第6回 学習指導方法 2
- 第7回 診断と評価
- 第8回 施設・設備の整備と管理、作業環境と安全指導など
- 第9回 「材料と加工に関する技術」における学習指導計画と評価
- 第10回 「材料と加工に関する技術」における教材研究
- 第11回 「エネルギー変換に関する技術」における学習指導計画と評価および教材研究
- 第12回 「生物育成に関する技術」における学習指導計画と評価および教材研究
- 第13回 「情報に関する技術」における学習指導計画と評価
- 第14回 「情報に関する技術」における学習指導計画と評価
- 第15回 まとめ

2. 授業評価法

評価はディプロマ・ポリシーによる授業評

価のアンケートおよび独自のアンケートを使用した。受講人数は4名である。

3. 授業評価結果

アンケート結果を図1に示す。すべてのDPの平均は2.95であった。

DPアンケート結果

- : 十分貢献した
- ▨ : 貢献した
- : あまり貢献しなかった

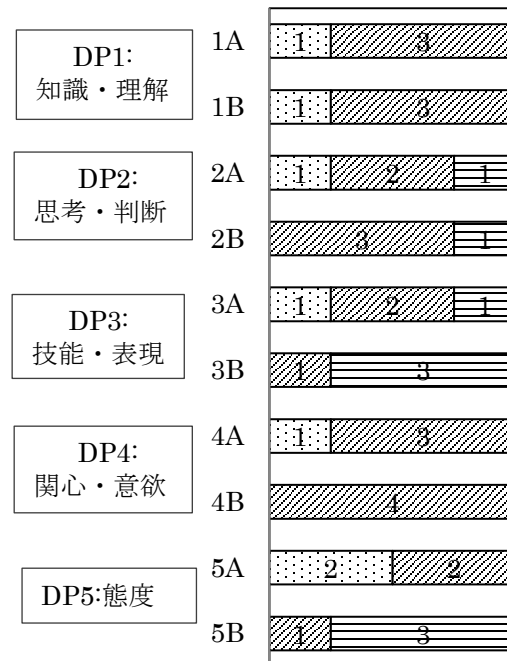


図1 DP の回答結果

知識・理解 DP1 について、1A 教育に関する知識の修得と1B 得意分野の専門的知識の修得は肯定的に回答している。

思考・判断 DP2 について、2A 教育をめぐる現代的諸課題の理解と2B それへの適切な対応策のあり方についての思考力・判断力の修得では1名の学生が否定的に回答した。2A については質問が「教育をめぐる現代的諸課

題」であり、中学校技術分野に関する授業の諸問題について講義はしている。学生は広義の意味で諸課題を捉えているため、否定的な回答があったものとする。

技能・表現 DP3 について 3A 教育活動に必要な高い技術の修得、3B 教育活動に必要な豊かな表現力の修得に関して、教員側は意識して講義しているつもりであったが、技術分野の全般的な講義内容であるので、学生には十分伝わらなかったと思われる。

関心・意欲 DP4 について 4A 自己の学習課題の明確化、4B 理論と実践を結び付けた自主的な学習への意欲喚起については、肯定的に回答している。

態度 DP5 について 5A 専門的職業人としての使命感や責任感の形成は肯定的であるが、5B 多世代にわたる対人関係力の育成について否定的な回答が多かった。この講義内容では難しいと思われる。

全体的には、バランスよく評価されていることから、この授業内容が学生にとって有益であったと考える。

独自のアンケート結果を図 2 に示す

独自のアンケート結果

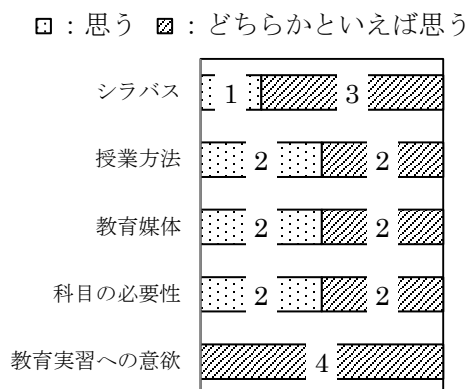


図2 独自のアンケート回答結果

シラバス、授業方法、教育媒体および科目の必要性にはおおむね肯定的な回答を得た。授業方法はどうしても教員の講義中心となり、討論形式を取り入れるのは時間的に難しい。

それは技術科教育法Ⅱ、Ⅲ、Ⅳで補っている。教育実習に対する意欲は、肯定的に回答した。また、授業レベルは、「適切である」と評価を得ている。

成績評価はレポートで行っている。課題は「中学校学習指導要領が改訂され、平成24年度から全面実施となった。技術・家庭科（技術分野）は「材料と加工に関する技術」、「エネルギーに関する技術」、「生物育成に関する技術」、「情報に関する技術」の4領域の学習である。

そこで、中学校技術・家庭科（技術分野）において、上記の4つの学習領域の知識や活用を社会生活という範囲で捉え、「持続可能な社会の実現を目指す生徒の育成」を目標に自己学習力を高める学習指導を行いたい。技術の時間は3年間で87.5時間と少ないため、複合学習領域の教材も効果的である。そのための学習目標・題材設定・題材のねらい・題材の特色・教材・学習指導計画・学習指導方法・評価方法について説明しなさい。学習領域は2つ以上を自分で選択、また、学習時間は25時間とする。

」である。文字数・ページ数などは指定していない。2回生前期の開講なので、教科内容についての授業は3科目ほどしか受講していない。内容的に浅くなるのは承知のうえで課している。現時点でどれだけ自主学習し、創造力を発揮できているかを評価している。ただ、教師側が想定している内容には達していないのが現状である。

おわりに

2年前期に開講している必修教科であり、中心的な科目であるので授業レベルに気を付けながら行っている。また、3回生の教育実習では中学校で実践してくれることを期待しながら、興味・関心を高め、持続できるように配慮している。

また、教員として、DPに沿い、本授業の学習目標に関して学生から肯定的な評価を得られるよう授業改善を行っていきたい。